

【健脚3時間コース】

12.慈母觀音～道の駅いたこ～第六天神社コースガイド

慈母觀音・万葉歌碑・旧所家住宅→水郷潮来バスター・ミナル→
道の駅いたこ→前川運動公園→曲松水神社→ベイシア→
曲松須賀天満宮→天王原古墳→第六天神社→慈母觀音駐車場

集合場所：慈母觀音駐車場



水郷潮来観光ボランティア連絡協議会

慈母觀音～道の駅いたこ～第六天神社コースガイド 【所要時間】約3時間健脚コース

慈母觀音駐車場→慈母觀音（トイレ）・万葉歌碑・旧所家住宅→水郷潮来バスター・ミナル→道の駅いたこ（トイレ）→前川運動公園（サッカー場、市民プール他）→曲松水神宮→ベイシア（トイレ）→曲松須賀天満宮→天王原古墳→第六天神社→慈母觀音駐車場

1. 慈母觀音・万葉歌碑・所家住宅

（1）慈母觀音

鹿島開発によって干拓事業が行われ「日の出」というニュータウンが誕生しました。その中に母なる運動の拠点として昭和50年6月に慈母觀音菩薩が造られ、当時の奈良薬師寺管主高田好胤和尚の手によって入仏開眼された比較的新しいお寺で『花の寺』ともいわれています。正式名は奈良薬師寺東関東別院「水雲山潮音寺」という法相宗の寺院です。ご本尊は慈母觀音、また薬師の本尊である薬師如来は無量寿殿に安置しています。「水雲山潮音寺」は檀家のいない、葬儀はしない、墓地も持たない薬師寺の伝統を守っています。この地区は東日本大震災により液状化の被害が大きく、潮音寺でも16棟あった建物が4棟になってしまい境内では今も修復工事が行われています。

境内では親の恩を説いた「父母御重経」の御写経や仏様のなぞり書き「写仏」などができるほか先祖供養、水子供養や病気平癒の御祈願などが受けられます。

8月13～16日、12月31日に万燈会が行われ境内中央広場で一万燈のろうそくに灯をともし、感謝と祈りを捧げます。



鐘楼と本堂



御本尊



万燈会

↓20分

（2）万葉歌碑

万葉歌碑は慈母觀音本堂の裏にある広い庭園の池のほとりにあります。本堂の裏側に廻っていくと池があり、浪逆橋を渡るとすぐ左側に歌碑があります。

「常陸（ひたち）なる浪逆（なさか）の海の
玉藻（たまも）こそ引けば絶（た）えすれ
何（あ）どか絶えせむ」（巻14-3397）
(大意) 常陸の浪逆海の玉藻こそ引けば切
れるが、われわれの仲はどうしてきれよう。
(作者) 未詳。常陸の国の歌



↓5分

12-2 (54)

(3) 旧所家住宅

旧所家住宅は東茨城郡桂村に所在した住宅でしたが、たまたま住宅新築のために解体されたのを機会に当地に移築したものです。所家は江戸時代中期頃村役などを務めた旧家で、この建物も形式手法から見て18世紀中頃の遺構と考えられます。

建物は曲屋状の平面を持つ住宅で、全国的に珍しいといわれている居住部（広間、座敷、納戸）と土間部を別棟とした分棟型民家の一例として注目されるものです。座敷及び納戸部に矩折（かねおり）の縁を設けたり、土間の正面側に中二階を設け外観を兜屋根とするなどの特徴を持ち、この時代の村役階級の農家としての型式手法を良く保持し、その生活様式による構造的空间への意匠を興味深く残しています。

昭和45年（1970年）に茨城県指定有形文化財に指定され、昭和47年（1972年）に現在地に移築されました。

※吉田松陰が東北遊学の折、宿泊した家で潮来では宮本茶村宅にも宿泊しています。

↓ 5分



2. 水郷いたこバスターミナル

2002年に設置され、東京方面への乗客が多く利用します。現在は5路線の高速バス（東京駅、成田空港、羽田空港等）と2路線の路線バスが乗り入れています。特に東京駅発着の「かしま号」は1時間に約3本（時間帯により変動あり）運行されています。

平成29年度から再整備が進められ、令和4年に完了しました。新待合所は従来の約2倍の床面積でリニューアルされ、新たに売店や授乳室等が設置されました。駐車台数：整備前242台（平成29年度）

↓30分 →395台（令和4年度）に増加



3. 道の駅いたこ

平成14年4月にオープンした道の駅です。東関東自動車道の潮来ICの近くです。新鮮な朝取り野菜や、虹工房特製のどら焼き「虹どら」、潮来のキャラクターグッズ等様々な商品が並んでいます。グランドゴルフも楽しめ、イベントも開催される子供から大人まで楽しめるスポットです。施設には、「情報棟」をはじめ、地元野菜の新鮮市場「伊太郎」や特産品が買える「うるおい館」、トッピングサービスのレストラン「おふくろ亭」等があります。

↓20分



4. 水郷いたこソーラー

東京ドーム3.8個分の広大な面積を有する水郷潮来ソーラー発電所。その設備容量は15.3MW年間では1470万KWHの電力を発電することができます。

これは一般家庭4,000世帯分の消費電力に当たります。

潮来市や「道の駅いたこ」との協力体制のもと事業を推進しています。道の駅いたこには「展望台」「発電モニター」「施設概要パネル」を設置。水郷潮来ソーラー発電所について、様々な情報を知ることができます。



5. 前川運動公園

前川運動公園には多目的広場、サッカー場、野球場、プール等があり市民の健康づくりの場となっています。多くの人が活用できる設備です。



運動公園施設看板

↓25分



サッカー場



野球場



プール

6. 曲松水神社

御祭神：美都波女命（みつはめのみこと）

伝承によれば、曲松の川岸は鰐川と浪逆浦の出入り口にあたり、扇状のため風向きによって急に波が荒れ恐れられていました。そこで村人達は松の根元に水神社を祭り、松を御神体として水上の安全を祈願しました。社には明和元年（1764年）の銘があります。

鳥帽子かけ松の由来

文治元年（1185年）源頼朝公は平氏追討の戦勝祈願のため、鹿島神宮参詣の時、板来（潮来）から鹿島へ向かう途中、河岸に枝や幹を横、斜め、四方に延ばしている見事な松が川辺まで伸びているのを見て川岸に立ち寄り、鳥帽子を脱いで松にかけ、腰を下ろして休憩したと伝えられています。現代の松は3代目と伝えられています。曲松の名はこれに起因しています。



↓15分 ベイシア（トイレ）経由



12-4 (56)

7. 曲松須賀天満宮

菅原道真を祀る神社で、学問の神として地域の人々に信仰されています。



↓ 15分

孝子石田寅松の顕彰碑もあります。



8. 天王原古墳

全長約35m、高さ約3m

で前方部を南南東に向けた前方後円墳とされています。

かって墳丘の東側部分を削平した際に二神二獸鏡が出土した古墳として知られています。



↓ 20分 前川橋経由



←前川橋からの前川

9. 大六天神社

千葉県香取郡山田町山倉の山倉大六天神社より分礼祀されたものと思われ、小泉地区の氏神として祀られていきましたが途中鹿島吉田神社の境内に移し、数年後に現在地に移され、昭和46年潮来有料道路新設に伴い移転新築されました。

創建は定かではありませんが、天保5年（1834年）に再造営された棟札があります。

大六天神社の拝殿の右側に水神社があります。寛文3年の創立と推定されています。

大六天は仏教でいう仏道を妨げる魔王で欲界を支配している最強の魔王です。

他化（たけ）自在天ともいわれ、人の快楽を自由に自分の快楽にしてしまう力を持つといわれています。織田信長が大六天魔王を自称したともいわれています。

松尾芭蕉句碑

「かりかけし田面の鶴やさとの秋」の句碑（明治9年建之）…鹿島紀行の中にある句
大意…稻を刈りかけた田んぼで鶴が餌をついばんでいる。



↓ 25分

芭蕉句碑

10. 慈母觀音駐車場

12-5 (57)